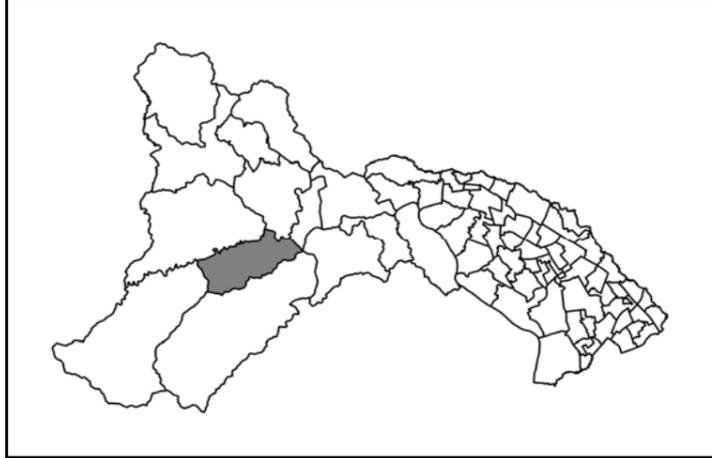


○地区を構成する町丁

【緑区】青野原、寸沢嵐

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

津久井町(前戸, 梶野, 嵐, 下原, 自治会法人上原, 東野, 東開戸, 上村, 宮下, 西野々), 相模湖町(新戸)

○地区概況

台地上に位置し、東西に国道413号が走る。国道413号は、歩道が付いた2車線の道路で、西側の宮下地区、西野々地区まで延伸している。
住宅は、国道413号より南側の台地と丘陵の境界部周辺に多く、また、東西に走る道路沿いに散在する。

○建物数・人口

建物		区分		建物 (棟数)	
建物	木造(昭和55年以前)	斜線	397 棟	0 100 200 300 400 500 600	
	木造(昭和56年以降)	横線	519 棟		
	非木造(昭和55年以前)	点線	25 棟		
	非木造(昭和56年以降)	格子	43 棟		
	合計		984 棟		
人口		区分		人口 (人)	
人口	0~4歳	斜線	31 人	0% 20% 40% 60% 80% 100%	
	5~64歳	点線	1,186 人		
	65歳以上	横線	512 人		
	合計		1,729 人		

○所見

- ・集落の中では所々、崖や谷に面する土地がある。土砂災害が発生した場合、集落間の車両通行が滞る可能性がある
- ・集落の南部では坂道が多くなる。
- ・富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある（風向きによってはより重大な被害のおそれもある）。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	青野原出張所
警察署	青野原駐在所
消防署	
消防団詰所	西野々, 東野, 梶野
病院等	青野原診療所
主な災害時要援護者施設	
幼稚園、保育園	青野原保育園
学校、大学	青野原小学校, 青野原中学校
避難所	※青野原中学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	青野原グラウンド
防災備蓄倉庫	青野原中学校, ※青野原グラウンド
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	青野原グラウンド

○地震被害予測結果

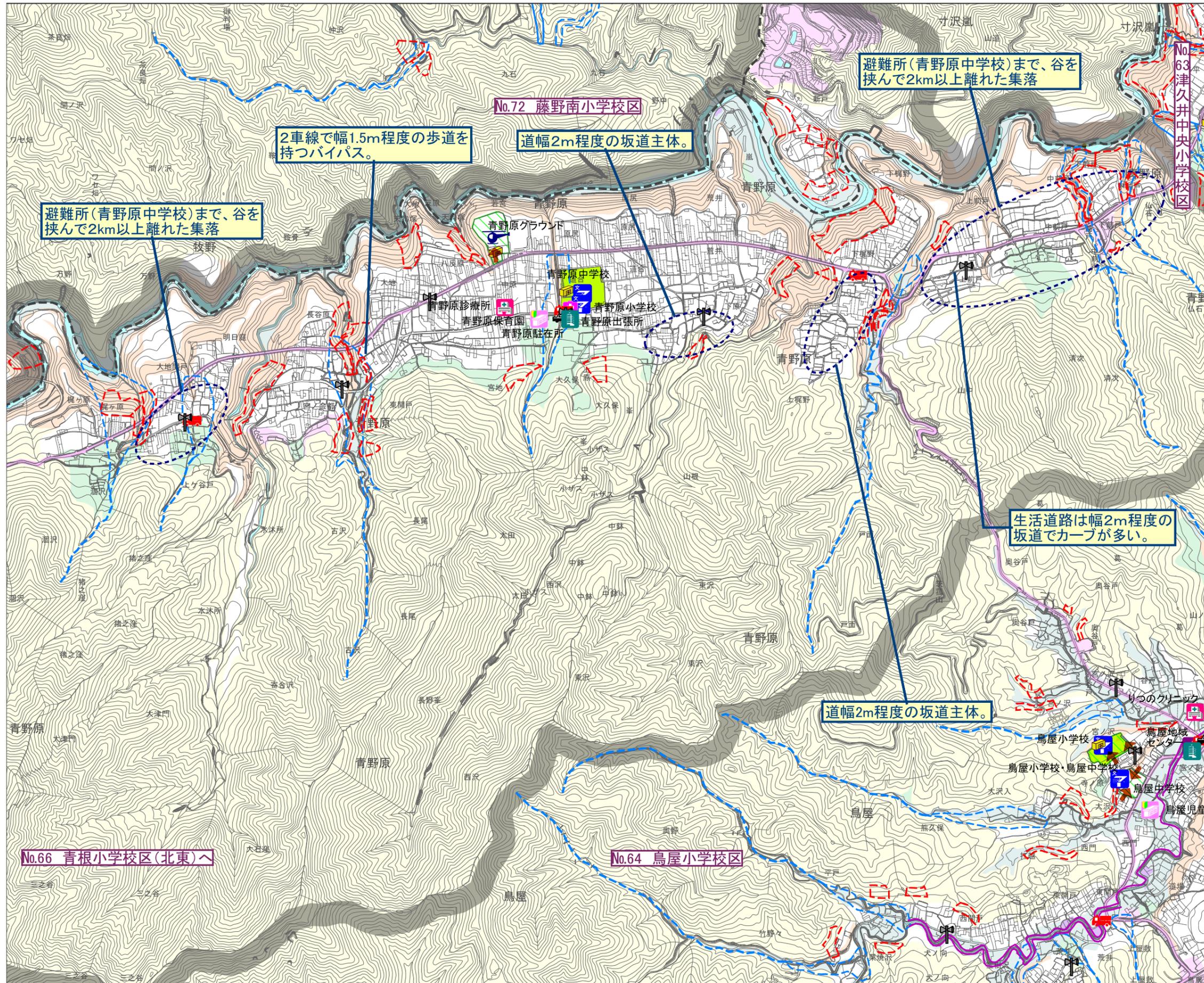
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	4 棟	0.4 %	53 棟	5.4 %	0 棟	0.0 %
建物焼失	0 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	0 人	0.0 %	3 人	0.2 %	0 人	0.0 %
閉込者	1 人	0.1 %	18 人	1.0 %	0 人	0.0 %
重傷者	0 人	0.0 %	4 人	0.2 %	0 人	0.0 %
軽傷者	8 人	0.5 %	28 人	1.6 %	1 人	0.1 %
避難所避難者(当日)	19 人	1.1 %	132 人	7.6 %	2 人	0.1 %
避難所避難者(1週間後)	76 人	4.4 %	251 人	14.5 %	19 人	1.1 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

なし



凡 例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:15000